

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 9月28日～11月23日

項 目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
1. 職務の理解【基準時間 6 時間（うち通信上限 0 時間）】						
介護職の仕事と働く現場の理解	9 月 28 日 10:00 ～ 12 : 00 (2 時間)	時間	生協本部会議室 2 0 名	[1] 江島 真弓	ア	講義 (DVD を使用)
介護職の仕事と働く現場の理解	9 月 28 日 13:00 ～ 17 : 00 (4 時間)	時間	生協本部会議室 2 0 名	[1] 江島 真弓	ア	講義 (DVD を使用)
小 計	6 時間	0 時間				
2. 介護における尊厳の保持・自立支援【基準時間 9 時間（うち通信上限 7. 5 時間）】						
人権と尊厳を支える介護	10 月 1 日 9:30～10 : 30 (1 時間)	3 時間	生協本部会議室 2 0 名	[2] 野田美智子	ア	講義
自立に向けた介護	10 月 1 日 10:30 ～ 11 : 00 (0.5 時間)	4.5 時間	生協本部会議室 2 0 名	[2] 野田美智子	ア	講義
小 計	1.5 時間	7.5 時間				
3. 介護の基本【基準時間 6 時間（うち通信上限 3 時間）】						
介護職の役割、専門性と多職種との連携	10 月 1 日 11:00 ～ 11 : 30 (0.5 時間)	0.5 時間	生協本部会議室 2 0 名	[2] 野田美智子	ア	講義
介護職の職業倫理	10 月 1 日 11:30 ～ 12 : 00 (0.5 時間)	0.5 時間	生協本部会議室 2 0 名	[2] 野田美智子	ア	講義
介護における安全の確保とリスクマネジメント	10 月 1 日 13:00 ～ 14 : 00 (1 時間)	1 時間	生協本部会議室 2 0 名	[2] 野田美智子	ア	講義
介護職の安全	10 月 1 日 14:00 ～ 15 : 00 (1 時間)	1 時間	生協本部会議室 2 0 名	[2] 野田美智子	ア	講義
小 計	3 時間	3 時間				
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携【基準時間 9 時間（うち通信上限 7. 5 時間）】						
介護保険制度	10 月 5 日 9:30～11 : 00 (1.5 時間)	2 時間	生協本部会議室 2 0 名	[4] 福原 和美	サ	講義

(別紙様式4)

項 目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
障害者総合支援制度とその他の制度	10月5日 11:00～12:30 (1.5時間)	2時間	生協本部会議室20名	[4] 福原 和美	サ	講義
医療との連携とリハビリテーション	(時間)	2時間			サ	通信教育
小 計	3時間	6時間				
5. 介護におけるコミュニケーション技術 【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】						
介護におけるコミュニケーション	10月8日 9:30～11:00 (1.5時間)	1.5時間	生協本部会議室20名	[34] 歌野 秀子	ア	グループ分けとディスカッション形式の講義
介護におけるチームのコミュニケーション	10月8日 11:00～12:30 (1.5時間)	1.5時間	生協本部会議室20名	[34] 歌野 秀子	ア	グループ分けとディスカッション形式の講義
小 計	3時間	3時間				
6. 老化の理解 【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】						
老化に伴うこころとからだの変化と日常	10月8日 13:30～15:00 (1.5時間)	1.5時間	生協本部会議室20名	[35] 水城由利子	ア	グループに分けてディスカッション形式の講義
高齢者と健康	10月8日 15:00～16:30 (1.5時間)	1.5時間	生協本部会議室20名	[35] 水城由利子	ア	グループに分けてディスカッション形式の講義
小 計	3時間	3時間				
7. 認知症の理解 【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】						
認知症を取り巻く状況	10月12日 9:30～10:00 (0.5時間)	0.5時間	生協本部会議室20名	[1] 江島 真弓	ア	講義 医学的観点から認知症を学ぶ
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	10月12日 10:00～10:30 (0.5時間)	0.5時間	生協本部会議室20名	[1] 江島 真弓	ア	講義 医学的観点から認知症を学ぶ
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	10月12日 10:30～11:30 (1時間)	1時間	生協本部会議室20名	[1] 江島 真弓	ア	講義 医学的観点から認知症を学ぶ
家族への支援	10月12日 11:30～12:30 (1時間)	1時間	生協本部会議室20名	[1] 江島 真弓	ア	講義 医学的な立場での家族の支援を学ぶ
小 計	3時間	3時間				

(別紙様式4)

項 目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
8. 障害の理解【基準時間 3 時間（うち通信上限 1.5 時間）】						
障害の基礎的理解	10 月 5 日 13 : 30～14 : 00 (0.5 時間)	0.5 時間	生協本部会 議室 20 名	[4] 福原 和美	サ	講義 外部講師を招き多くの事例を学ぶ
障害の医学的側面の基礎的知識	10 月 5 日 14 : 00～14 : 30 (0.5 時間)	0.5 時間	生協本部会 議室 20 名	[4] 福原 和美	サ	講義 外部講師を招き多くの事例を学ぶ
家族の心理、かかわり支援の理解	10 月 5 日 14 : 30～15 : 00 (0.5 時間)	0.5 時間		[4] 福原 和美	サ	通信教育
小 計	1.5 時間	1.5 時間				
9. こころとからだのしくみと生活支援技術【基準時間 7.5 時間（うち通信上限 1.2 時間）】						
Ⅰ 基本知識の学習(1.0～1.3 時間)						
介護知識の学習 (介護の基本的な考え方)	10 月 15 日 9:30～11 : 00 (1.5 時間)	1.5 時間	生協本部会 議室 20 名	[2] 野田美智子	ア	講義 多くの事例を学ぶ
介護に関するこころのしくみの基礎的理解	10 月 15 日 11:00～12 : 30 (1.5 時間)	1.5 時間	生協本部会 議室 20 名	[2] 野田美智子	ア	講義 より多くの事例を学ぶ
介護に関するからだのしくみの基礎的理解	10 月 12 日 13:30～16 : 30 (3 時間)	3 時間	生協本部会 議室 20 名	[13] 内田 銘子	ア	講義 からだのしくみを学ぶ
Ⅰ 計	6 時間	6 時間				
Ⅱ 生活支援技術の講義・演習(5.0～5.5 時間)						
生活と支援技術	10 月 19 日 9:30～16 : 30 (6 時間)	時間	生協本部会 議室 20 名	[7] 塚本 美恵	ア	グループに分け福祉用品を使用し、より実践に近づけた演習、講義。
快適な居住環境整備と介護	10 月 22 日 9:30～16 : 30 (6 時間)	時間	生協本部会 議室 20 名	[39] 山根 光	ケ	グループに分け福祉用品を使用し、より実践に近づけた演習、外部講師を招いた講義。
整容に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10 月 26 日 9:30～16 : 30 (6 時間)	時間	生協本部会 議室 20 名	[11] 河野 祐子	ア	グループに分けベッドを用い、実践的な演習、講義を行う 講師による演習
移動に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10 月 29 日 9:30～16 : 30 (6 時間)	時間	生協本部会 議室 20 名	[36] 田端 喜幸	ア	グループに分け車イスを使用し、より実践的な演習、講義。 講師による演習

(別紙様式4)

項 目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要	
食事に関するこ ころとからだの しくみと自立に 向けた介護	11月2日 9:30～16:30 (6時間)	時間	生協本部会 議室20名	[38] 神山 京子	ア	グループに分け食事の介助の 実技演習、講義。
入浴と清潔保持 に関するこころ とからだのしく みと自立に向け た介護	11月5日 9:30～16:30 (6時間)	時間	生協本部会 議室20名	[17] 内田 銘子	ア	グループに分けベッド上での 洗髪などを実践的な演習、講 義。 講師による演習
排泄に関するこ ころとからだの しくみと自立に 向けた介護	11月9日 9:30～16:30 (6時間)	時間	生協本部会 議室20名	[37] 山下ゆかり	ア	グループに分け紙オムツを使 用し実体験を行う演習、講義。
睡眠に関するこ ころとからだの しくみと自立に 向けた介護	11月12日 9:30～12:00 (2.5時間)	3時間	生協本部会 議室20名	[21] 中川 光子	ア	泊まりのある施設のベテラン 講師による。経験談などの講 義、演習。
死にゆく人に関 するこころとか らだのしくみと 終末期介護	11月12日 13:00～15:30 (2.5時間)	3時間	生協本部会 議室20名	[21] 中川 光子	ア	泊まりのある施設の講師によ る。経験談などの講義、演習。
Ⅱ計	47時間	6時間				
Ⅲ 生活支援技術演習						(10～12時間)
介護課程の基礎 的理解	11月16日 9:30～15:30 (5時間)	時間	生協本部会 議室20名	[34] 歌野 秀子	ア	講師による演習、講義。
総合生活支援技 術演習(事例に よる展開)	11月19日 9:30～15:30 (5時間)	時間	生協本部会 議室20名	[34] 歌野 秀子	ア	講師による総合的に技術の演 習。
Ⅲ計	10時間	時間				
小 計	63時間	12時間				
10. 振り返り						【基準時間4時間(うち通信上限0時間)】
振り返り	11月23日 9:30～11:30 (2時間)	時間	生協本部会 議室20名	[1] 江島 真弓	ア	振り返りの総合的演習、講義。
就業への備えと研 修終了後における 継続的な研修	11月23日 12:30～14:30 (2時間)	時間	生協本部会 議室20名	[1] 江島 真弓	ア	グループ全体の紹介を含む就 業への講義
小 計	4時間	時間				
合 計	91時間	39時間				

(別紙様式 4)

修了評価						【基準時間 1 時間以上】
項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				【講師番号】氏名	要件	
修了評価	11 月 23 日 14:30 ~ 15 : 30 (1 時間)		生協本部会 議室 20 名	[1] 江島 真弓	ア	試験

注 1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。

注 2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数（科目毎に別紙 4 に定める時間数を上限とする）を記載する。

注 3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表（別紙様式 5）に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。

注 4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。

注 5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。